

# ハチ博士の ミツバチコラム

20



京都大学園芸学部  
環境学部長  
坂本文夫教授

## ミツバチの校章

3月と言えば学校の卒業式ですね。数年間をともに過ごした級友や先生との別れ、そして4月からの新しい生活への希望と期待、と悲喜こもご

もの季節です。普段は馴染みがなくても、卒業式で目にするものの一つが学校の校章でしょう。最近では校章入りの制帽や制服は少なくなりましたが、式が行われる講堂のどん帳や卒業証書に校章があらわれているのは良くあることだと思えます。

埼玉県朝霞市立朝霞第三中学校の校章にはミツバチがデザインされています。挿絵はそのスケッチで羽の翅脈（しみゃく）まで細かく描かれており、校章の説明は「大きな困難を克服し、根気強くたち働く蜂。わたしたちも蜂のように、集団生活の中で、協力し合って、りっぱな学校をつくらせてあげよう。」です。同校で

は、ミツバチに因んだイベントとして、夏祭りのダンス「三中ソーラン・みつばち」や課外活動「みつばち学園、みつばちファーム」も行われ、学校全体でみつばちをシンボルにした取組みがなされています。

ミツバチを学校教育のなかに取り入れる試みは各地で行われていて、校内に巣箱を置いて、花蜜を集めたり、花粉媒介に飛び回るミツバチを観察させたり、素手でミツバチに触れさせたりする小学校の先生もいます。刺される恐怖感が先に立って、これらの試みが普及する所まででは行っていないませんが、多くの先生たちがミツバチの生活や恵みを教育に取り入れたいと考えています。私も中京区の取組みが子供達の教育にもっと役立てばいいな、と思っています。



イラスト おおくぼひとみさん